

施策名：地球温暖化対策の推進

事業名	担当課・室名	ページ
地域気候変動対策推進事業	うつくし作戦推進課	1 / 1
森林・林業教育促進事業	森との共生推進室	1 / 1
(公) 造林事業・再造林促進事業	森林整備室	1 / 1

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-4-(3)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
1	地域気候変動対策推進事業 (R3 ~ R5) うつくし作戦推進課 2050年CO2排出実質ゼロに向け、家庭・業務・運輸部門における排出削減による温暖化緩和の取組を強化するとともに、気候変動による影響に備えるため、研究機関等と連携し、地域別の気候変動予測を行う。	①地球温暖化対策実行計画改定に向けた調査等 計画の改定に向け、県内のCO2排出状況や最新の技術動向等について調査し、改定作業を実施 ②家庭部門におけるCO2削減対策 ・環境アプリ「九州エコファミリー応援アプリ」の普及推進 ・家庭エコ診断や地球温暖化対策講座等の実施 ③業務部門におけるCO2削減対策 ・事業所向け省エネ診断の実施 ・エコアクション21の新規認証・登録事業者に対する登録に係る経費の補助 ④運輸部門におけるCO2削減対策 宅配一回受け取りキャンペーン等の実施	① 11,494 ③ 5,688 ② 11,471 ④ 3,428	温室効果ガス排出量 (千t-CO2以下) [千t-CO2]	目標値		41,195	40,018	A
			実績値			31,545	—		
	達成率		123.4%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルスの影響により、大分市環境展等のイベントが実施できなかったことから、環境アプリの周知が進まず、登録者が伸びなかった。 令和4年度はテレビCMや市町村報への掲載等によりアプリの使い方の周知を行う。また、温暖化防止活動推進センターと連携して、今まで周知が届いていなかった層への働きかけを行う。 ※国の統計資料等を用いて実績値を算出しているが、統計資料は2年遅れて公表されるため、令和3年度欄には令和元年度の目標値及び実績値により評価				
	環境アプリ登録者数 [件]	目標値 5,000 実績値 926 達成率 18.5%	大分県ノーマイカー ウィーク年間モニター事業所登録件数 [件]	目標値 424 実績値 426 達成率 100.5%					
予算額 (うち翌年度繰越額) 40,349 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 35,635 (9,997)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価
2	森林・林業教育促進事業 (R3 ~) 森との共生推進室 幼少期から小中学生まで、子ども達の学びの段階にあわせた体系的・継続的な森林林業教育の推進体制を構築し、次世代の大分の森林づくりを担う人材の育成を進める。	①森林林業教育促進事業 ・子どもの森林体験活動を支援する講師（森の先生）の派遣：78回（体験者数2,926人） ・森林林業教育指導者の育成 30名 ・森林・林業教育モデル校の取組 52名 ②森林林業教材作成事業 学習指導要領に則った森林林業教育副読本の作成 ③名樹とのふれあい事業 特別保護樹木の保育・保全及び看板設置 ・治療：2箇所 ・診断：1箇所 ・看板設置：1箇所 ・標柱設置：2箇所 ④次代の森林づくり活動リーダー育成事業 森林環境教育や森林づくりを行ってきた小学生を対象とした研修の実施や活動の支援 ・少年団のつどい 119名	① 8,387 ③ 1,209 ② 5,530 ④ 701	森林林業教育体験者数 [人]	目標値		4,800	5,100	B
			実績値			4,416	—		
	達成率		92.0%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍での活動自粛に伴い、学校の授業や放課後児童クラブ等からの申込が減り、森の先生派遣事業体験者数は減少したが、各地で開催した森林・林業教育やモデル校の取組により、目標数値は概ね達成した。 令和4年度からは、0-Laboと連携した森-Laboの開催や育成した指導者の派遣、作成した副読本を活用したモデル市町村での取組などを通じて、森林・林業教育を広く展開する。				
	指導者研修修了者数 [人]	目標値 30 実績値 30 達成率 100.0%	体験フィールドを活用したプログラム実施回数 [回]	目標値 1 実績値 3 達成率 300.0%					
予算額 (うち翌年度繰越額) 17,197 (0)	決算額 (うち国庫支出金) 15,827 (0)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針									
3	(公)造林事業・再造林促進事業 (H21 ~) 森林整備室 森林の公益的機能の向上を図るため、再造林、鳥獣害防止施設整備、下刈り及び間伐等森林整備を推進する。	①森林環境保全整備事業 ・再造林、下刈り、間伐等 7,044 ha ・鳥獣害防止施設整備 330.7 km ・森林作業道開設 85.6 km	再造林や間伐等の森林整備により、適正な森林管理が図られ、水源かん養や災害の発生防止、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止などの公益的機能の発揮につながった。									
		◇再造林率の推移										
	予算額 (うち翌年度繰越額) 3,501,090 (1,366,498)	決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 2,096,669 (1,265,545) (1,423,969)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4 (目標)</th> <th>R 6 (最終目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再造林率 (%)</td> <td>72.6</td> <td>73.8</td> <td>77.0</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	年次	R 2	R 3	R 4 (目標)	R 6 (最終目標)	再造林率 (%)	72.6	73.8	77.0
年次	R 2	R 3	R 4 (目標)	R 6 (最終目標)								
再造林率 (%)	72.6	73.8	77.0	80.0								